

地域福祉 と 支え合うところ

近年、私たちを取り巻く社会の情勢は大きく変化し、様々な地域課題が顕在化しています。このような中、今後さらに「地域福祉」を推進していくためには、地域における「支え合うところ」が不可欠であると考えています。



「地域福祉」とは、それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むことだと認識しています。

そのため、地域住民やNPO・ボランティア、支援関係機関、行政などの協働と実践が何より重要で、それは、誰もがお互いに「支え合うところ」をもつことにより深まるものだと思っています。

また、「地域福祉」を推進するためには、地域の実情に応じた活動が展開されていくことが大事です。今後、地域の皆様とともに、この計画の推進に努め、各校区の「地域福祉活動計画」の策定支援にも力を入れてまいります。

これまで、様々な地域生活課題を抱える人や世帯への支援を実施してきましたが、今後も寄せられる様々な相談を受け止め、必要に応じて地域住民・支援関係機関などと連携し、課題解決に努め、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく生活できるような支援体制を強化してまいります。

この計画がめざす「支え合うところあふれるまちくるめ」、引いては「地域共生社会」の実現に向けて、地域住民の皆様の一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にあたり、様々なご意見・ご提言をいただきました皆様に、ここからお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

令和2年（2020年）3月

社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会

会長 萩原 重信

